

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第6回 栃木東部地域会議
開催日時	平成27年10月28日 開会18時56分 閉会20時05分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	五十嵐 記代子、大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、 柏崎 章吉、神田 誠司、神戸 透、倉持 好則、後藤 英雄、 島田 秀夫、竹澤 克元、田中 雅人、藤本 紀子
欠席委員氏名	千葉 義弘、谷中 俊太郎
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域予算事業計画書について ・栃木東部地域会議だより（第2号）について ・認定まちづくり実働組織について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：出井所長
2 あいさつ	柏崎会長
3 議事	
会 長	・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。
事務局	・本日の出席委員は14名である。なお、千葉委員、谷中委員からは所用のため欠席との連絡をいただいていることをお伝えする。
会 長	・全委員の過半数であるため、本日の会議は成立している。
（1）地域予算事業計画書について	
会 長	・事務局から説明願う。
事務局	・（資料1～7ページに基づいて説明）
会 長	・何か意見・質問があればお願いしたい。この件については国府からも提案が出たが、今回は大宮で、次回は国府という形を採りたい。
委 員	・それにしても、300万円は高いのではないか。
委 員	・3倍だ。特に委託料50万円が予想外だった。
委 員	・ホームセンターで買ってきて自分で作る方が安い。
委 員	・提案する前にホームセンターで金額を確認したら100万円くらいで売っていたので

提案した。

- 委員 ・普通、値段は下がると思うが、そうではないのか。
- 委員 ・何坪になるのか。
- 委員 ・20平米。
- 委員 ・13畳くらい。
- 委員 ・7坪前後か。
- 委員 ・これはこれとして勉強になったのだから、いい授業料だと捉え、これから補助金のよい使い方を考えていけばよいのではないか。
- 委員 ・今回は大宮、次回は国府ということで、我々は初めてなので勉強しながら進めていきたい。

(2) 栃木東部地域会議だより（第2号）について

- 会長 ・事務局から説明願う。
- 事務局 ・(資料8、9ページに基づいて説明) A4版両面刷りで、事務局で調整した後、12月中旬に発送予定の広報とちぎ1月号で東部地域内に全戸配付する予定である。
- 会長 ・何か質問・意見があればお願いしたい。
- 委員 ・金額は載せない方がよいのではないか。後である休憩所で300万円なのかと言われそう。
- 事務局 ・金額を載せないことも検討したい。載せない場合は、提案された他の事業を載せるなどしたい。
- 委員 ・高い値段のものを建てるのだから丁寧に使いましょう、という意識付けになるかも知れないが、同じ値段であと2つ建てられると考えるのは私一人でないと思う。
- 委員 ・資料だと写真がよくみえない。
- 事務局 ・実際はカラー印刷する。
- 委員 ・カラーならばはっきり見えてよい。
- 委員 ・2つ気づいた点がある。1つ目は、設置場所についてだが、右側の写真は分かりにくい。上から見た平面図で、広場の南方に設置されることが分かるとよい。
- 委員 ・広場の南に水道があり、その近くに休憩所を立てればその水道が使えるので、その場所への設置を提案した。
- 委員 ・場所はそこでよいが、写真ではなく平面図の方がよい。
- 委員 ・右側の写真は北側から撮って南の上空に点線で示しているが、平面図の方が分かり易い。
- 委員 ・もう1点、事業計画書とは何かという内容、つまり地域会議で検討されて地域の課題として提出されたということも載せた方が地域の皆さんには分かり易いと思う。
- 事務局 ・設置箇所は平面図に改め、事業計画書の意味も載せることにしたい。
- 委員 ・この資料の写真のようなものが今度設置されるのか。
- 委員 ・それとはちょっと違う。写真は今有るものだ。
- 委員 ・(これから設置するものと間違えないように) 既存の休憩所の写真は載せない方がよいのではないか。
- 委員 ・私は、同じようなものが9坪でキッチンもつけて280万円できた。なぜ、こんなに高いのか。

- 委員 ・市役所の内規でそうなる。
- 会長 ・このたよりが配付されると、どんなものができるのか不思議に思うのだから、隠すことなくこれからできるものを載せた方がよいと思う。
- 委員 ・そうすれば、市民が税金の使い方にもっと関心をもってくれると思う。我々の市民感覚からは、かなり無駄遣いに思える。それを行政として直していかないといけない。
- 委員 ・既存の写真を載せると、それができると思ってしまうのではないか。
- 委員 ・そう思ってしまう。
- 委員 ・6ページのカatalogの写真を引き伸ばしたものを載せられるか。その写真にある自動車は入れない方がよいだろう。
- 委員 ・だいたいこんなものを作るという意味で、既存の休憩所の写真のままでよいのではないか。
- 委員 ・5ページのような平面図よりは、写真に近いものの方が分かり易いと思う。
- 会長 ・設置箇所は平面図にして、既存の休憩所の写真はそのまま掲載することとしたい。
- 委員 ・運動広場が実際に何に使われているのかを載せるとよいと思う。
- 委員 ・平日の夕方は東陽中のサッカー、休日は東陽中のソフトボールと野球で使っている。学童野球や町内ソフトボール、グラウンド・ゴルフでも利用する。利用団体が多いので、調整会議を行なっている。既存の休憩所をグラウンド・ゴルフとソフトボールで使っている時に、中学生が荷物を置く場所が無く、屋根の無い所に荷物を並べて置いていたのを見て、可哀想だと思ったのがこの提案のきっかけだ。
- 委員 ・年間稼働日数についてスポーツ振興課で把握していると思うが、それも載せるとよいと思う。

(3) 認定まちづくり実働組織について

- 会長 ・事務局から説明願う。
- 事務局 ・(資料10、11ページに基づいて説明) 全8地域会議のうち、栃木西部地域で吹上・皆川・寺尾の3つの実働組織の設立に向けて規約を整理している。栃木東部地域においてもそれぞれのまちづくり協議会等で話し合いをしていただき、来年4月頃には方向性を示していただければ有難い。
- 会長 ・国府と大宮のまちづくり協議会が一つになってまちづくりを進めることも必要だと思う。補助金の確認だが、例えば200万円の事業をしたら100万円の補助金ということではいか。
- 委員 ・そのとおり。補助率は2分の1である。
- 委員 ・勉強不足で申し訳ないが、国府と大宮のそれぞれのまちづくり協議会がどのような活動をしているのかを教えてください。
- 会長 ・国府は大きな事業は無いが、国庁跡の草刈りや、体育祭、公民館まつりなどの頭にまちづくり協議会を入れて(協賛として助成金を出して)行なっている。国府は行事が多く、まちづくり協議会独自でやるような話は持ち上がらなかった。講演会を今年11月に予定している。
- 委員 ・大宮は、発足して1年ちょっとだが、毎年、各種団体長の視察研修を行なっている。今後、公民館まつりをまちづくり協議会主体でやろうかと協議している。大宮地区内35自治会、宮本を入れると36自治会の地図を作る打ち合わせをしているが、実現

	性が乏しい。大宮公民館の南には5つか6つの自治会しかないが、北には20以上もある。自治会長さんでも自治会の境を分かっていない方も多いと思う。
会 長	・国府の活動について付け足しをしたい。昨年まで花いっぱい運動として草花の種を配付したが、芽が出なかったので今年度は行なっていない。協議会だよりを今年度は出したいと思っている。予算は1戸につき230円いただいている。その予算でイベントを支援している。
委 員	・来年4月までにまちづくり実働組織の方向性をつけたいということだが、昨日文化会館で聴いた講演が大変参考になった。学生を参加させた若者の目で見えたマップ作りもよいと思った。
委 員	・その話も非常によいと思うが、私は、将来ではなくて現状の地図作りの話をしている。
委 員	・私は、来年に向けて実働組織をどうするかを言っている。自治会マップは大宮で作ればよい。
委 員	・自治会が入り組んでいる地域を地図にすると文字が小さくなり見にくいので、番号をふって、その番号が何自治会で何戸あるのかを別に記載する形を考えている。
委 員	・栃木東部地域にも若い世代が移り住んできている。そうした若い世代向けの観光地にあるような折り畳める地図を（先日の講演では）学生たちが作っていた。
委 員	・国府は国府で新たにイベントを立ち上げるのか、大宮と国府で一緒に立ち上げるのかで、大きく変わってくる。
委 員	・前回の会議では、来年度のそれぞれのまちづくり協議会などの総会を待たないと決められないので、今年度中は結論を出さず、来年4月には実働組織を一つにしないことになったのではないかな。
会 長	・東部地域として、大宮と国府が一緒になって何か残せるとよいと思う。
委 員	・次の世代につなげるようなことをやるのが我々先輩の責任だろう。
会 長	・各地域でまちづくりを細分化してやっていけばよいと思う。
委 員	・西部地域のように地区でそれぞれに設立するのか、一本化するのかは、結論は先送りすることになったのではないかな。
事務局	・結論までは出ていなかった。各地区のまちづくり協議会で話し合ってもらったと思う。
委 員	・しかし、現在話し合いはできていない。来年度の総会で話し合うものと理解している。西部地域は別々の3つの実働組織でやるという結論が出た。我々は一つになる方向を目指しているのかどうかについても結論が出ていない。
委 員	・一緒か別々かの結論は出していなかったと思う。
委 員	・結論を出していないという点では私も同じ理解だ。
会 長	・それを総会で決めようという話だったような気がする。
委 員	・結論はいずれにしても、ある方向に進んでいるということをまちづくり協議会なり他の団体なりで説明して賛成を得ないと決められないと思う。
委 員	・今までのまちづくり協議会とは別に地域会議で1つ作るのか、それとも今までのものを合併して全く新しい地域会議でできたまちづくり実働組織に一本化して欲しいということか。
事務局	・ふれあいトークで市長が申し上げていたと思うが、地域会議は実働組織を認めていく立場であり、ここで一つ設立するというものではない。方向性はそれぞれの地域で考

えてよい。ただ、一つになった方が補助限度額が100万円になるという有効性を説明しただけであって、一つになることを強いるものではない。

委員 ・各まちづくり協議会を実働組織として認め、活動は続けていいということか。

事務局 ・それぞれ活動を続けながら実働組織として認めることは可能だが、補助限度額は30万円になる。その後に、二つのまちづくり実働組織を一つにすることについては分からないので、確認したい。

委員 ・新しく何かやろうとしても難しい。100万円補助してもらうには200万円以上の事業を行う必要がある。大宮と国府であらゆることを一緒にやっていくのは、やり辛いのではないか。年度変わりには、身の丈に合ったやり易い30万円の補助をもらえる事業を考えればいいとずっと思っていた。一緒にやると言っても、体育祭などを1年おきに大宮と国府で場所を変えて行うのも難しいし、東陽中には駐車場が少ないことなどからも、何か大きいイベントができる地域ではないということを私たちが理解すべきだと思う。

会長 ・非常に難しい問題であるし、早急に結論を出すものではないので、これからも皆さんと討議していきたい。

(4) その他

会長 ・事務局から何かあれば、説明願いたい。

事務局 ・来月の地域会議は、市（文化課）からの説明（付議）があるので、予定通り行いたい。他の地域会議は今後の開催を隔月にしているところが増えており、東部地域においても12月の地域会議は中止として、その代わりに懇親会を開きたいと考えている。12月16日（水）の午後6時半頃からで、場所・会費は未定であるが、この点につきご協議いただきたい。

会長 ・この点はいかがか（複数委員から「賛成」の声あり。その後、全員が賛成の挙手。）12月は懇親会としたい。

4 その他

(1) 事務連絡

事務局 ・次回会議は11月18日（水）19時から国府公民館で開催する。第5回地域会議の委員報酬は10月14日に振り込みとなったのでご確認いただきたい。

以上